

を示して居る。尙將來調査の進行と共に夫以上に殖える可能性もあると考へる。將來の日本は國策として熔鑄爐の製品及び鋼の半製品の製産は滿洲に委かして貰ひたい。日本には今後熔鑄爐を建てる必要はあるまい。又スクラップも從來の如く外國に依存する以上は日本には平爐の如きものを建てる必要はあるまい。若しあるならば鉄鐵或ひは半製品は滿洲の供給を受ければよい。日本内地ではもつと程度の高い工業に進出するのが本當だ」と云ふやうな御意見のやうに承りましたが、是れは小日山理事長の御意見として拜聴致しますが内地人として之に對し相當意見があることゝ存じますが今は謹んで拜聴致しまして、尙將來お互ひに克く研究して見る事にしたいと存ずるのであります。

又ヨハンゼン博士は長谷川博士の御紹介にも御座いましたやうに、多年に亘つてレン法の御研究を続けられ、幾多の困難を排して今日の成功を齎された譯であります。日本に於きましても其の特許を買ひ受けまして、三菱は清津に、昭和は鞍山に各其工場を建設し清津では既に操業を開始されるに至つて好成績を擧げて居られると云ふ事でありませう。

今夕は「レン法の獨逸に於ける現況」をお話下さしまして種々の成分の違ふ鐵鑄の操業の結果、或ひはレン法と熔鑄爐との比較、レン法と平爐とのコンビネーション、レン法と電氣爐とのコンビネーションに於て如何なる成績を得るかと云ふ事を詳しく例を擧げて御説明下さしました。のみならず非鐵金屬、即ちニッケル、銅、コバルト等のルツペを造る方法に就いて或ひはレン法をヴェルツ法とを結びつけて銅は銅、亞鉛は酸化亞鉛としてコンセントレートすると云ふ風に私共に單に鐵の還元就いてお話下されたのみならず非鐵金屬に關する應用に就いても詳しくお話下さしました。

尙此の御講演の原稿を頂戴致しまして會誌の上で又皆さんに御紹介する事が出来ると思ふのであります。

斯くの如く小日山理事長及びヨハンゼン博士から極めて有益なるお話を承りまして我々は啓發される所甚だ多かつた事を感謝致して居ります。失禮ながら此の席から御兩所に對し厚く御禮申上げる次第であります。又ヨハンゼン氏の講演を極めて明快に御通譯下さいました鈴木氏に對しても深謝の意を表します。

尙只今の御話につきましては御質問も御座いませうし、是に就いての皆さんの御意見を伺ふのも有益であると思ひますが、何分時間が差迫つて居りますから御質問が御座いましたら、何卒日本鐵鋼協會の方に御書面でも下さいませすればお尋ねいたしまして御返事することにしたいと思ひます。

終りに會員諸君は本日午前 9 時から約 6 時間に亘り 6 工場を御見學になられまして非常にお疲れであるにも拘らず、擧つて此の會場に御出で下さいまして熱心に兩氏の御講演を清聴されました事は、私共の非常に欣ばしく存ずる所でありませう、殊に此度は山本副委員長及滿鐵の渡邊工作局長等の一方ならざる御盡力によりまして此紀念講堂に 200 名に餘る聴講者を得まして、通俗講演會を開く事を得ました事は日本鐵鋼協會、滿洲冶金學會、兩學會の非常な欣びとする所でありませう。此の點に關しては前述の兩氏及御聴講の皆さんに厚く御禮を申上げる次第であります。是れを以つて閉會の辭と致します。(拍手)

V. 奉天に於ける招待晚餐會の狀況

(康德 6 年 9 月 25 日午後 9 時開會於ヤマトホテル)

挨拶

滿洲工業會理事長 山本盛正君

一寸御挨拶申上げます。此の度日本鐵鋼協會の皆様方には全滿御視察の途次奉天にお出で下さいました。地元の我々と致しましては此の際なんとかして御視察の目的の達せられますやうに努力したい。何とかして長い旅行の御疲れを御慰め致したいと思ひましたが、何分にも至らぬ事ばかりで本來の御期待に副ふ事も出来なければ、充分の御慰めも出来ないと思ふやうな次第で御座います。其の點、此の席を藉りまして改めて御宥しをいただきたいと思ふのであります。

申す迄もない事で御座いますが、先年滿洲國の建國に際しましては、日本帝國としては一方ならぬ努力と犠牲を拂つて居るのであります。今でこそ國際聯盟なんかは眼中にありませんが、當時の日本としましては實にのるかそるか云つたやうな氣持で聯盟脱退までしまして滿洲國の建國を助成し、是れを承認したのであります。斯くの如く國際上の關係は無論の事、其の他凡有る方面に於て滿洲國の生みの親であり、育ての親である日本帝國を祖國に持つ我々在滿日本人としましては、各々其の立場に於て滅私奉公の誠を致さねばならない事は勿論の事でありまして、工業人は工業人の立場から滿洲國の工業界の伸張發展に努力すべき使命を持つて居るもののだと思ふのであります。

現在滿洲國に於きましては、産業 5 年計劃を樹立しまして官民一致協力、着々實行の歩を進めて居る次第で御座います。

併しながら皆様御覽下さいました通り、5 年であれ丈の尨大な計劃を實行するので御座いますから、内容の細かい所まで充實して居ないと云ふ憾みがあるのでありまして、人間で申せば身量丈け出来上つて目鼻がまだ充分整つて居ないと云ふ程度かと思ひます。それも實行に着手致しましてから僅か 3 年か 4 年位の日子を經過したに過ぎないのでありますから無理もないのであります。

我が日本の工業界が今日の殷賑を招來する迄には 30 年から 40 年の月日を費してゐるのであります。而もそれに対して歐洲各國の人々は日本は長足の進歩をしてゐると云つて居られるのであります。が、滿洲國は日本が 30 年乃至 40 年を費した事を僅々 5 年、或ひは遅くとも 10 年間で完成しやうと云ふのでありますから非常な努力をしながら内容の充實まで行互らないと云ふ事も已むを得ない事と思ひます。

併しながら此の尨大な計畫を 5 年間で完成しやう、或ひは遅くとも 10 年間で完成しやうと云ふやうな意氣込はどう云ふ所から來て居るか申しますと、それは我が日本の工業界と云ふものが充分發達し切つて居り、基礎が立派に出来上つて居る。滿洲國は日本のその立派に出来上つた基礎を土臺にしてやるのであるからそう云ふ事が出来る。技術の優れた人間がドンドン日本から來て呉れる、機械も來る、金も來る、それ故にこそかかる尨大な産業の計劃を樹立する事が出来るのであります。若し日本にあれ丈の基礎が出来てゐなかつたならば、日本が何等土臺のない所にものを築き上げたと同様、30 年 40 年の努力を必要としなければならぬのであります。有難い事に現在の滿洲國は其の必要がない。凡ては日本に基礎が出来て居ります。

我々は日本と一體になる事に依つて斯る尨大なる産業計劃の確立、而して着々たる實行を見て居る次第であります。

最近私共は「滿洲國の産業の發展は日本の産業を壓迫する事にな

りはしないか」と云ふやうな事を時々耳にするのであります。併しながら私共の如く長い間工業に従事して居ります経験から致しまして、滿洲國の産業の發展が日本の産業を壓迫すると云ふ事には決してならないと思ひます。滿洲國の産業が發展するに従つて日本の産業が發展し、日本の産業の發展に従つて滿洲國の産業が發展する。兩々相俟つて進む可きものと思ひます。

只その間不景氣、好景氣と云ふ事は多少關係があるかも知れませんが、將來の日本は今までの日本と違ひまして、滿洲國と云ふ大きな國を相手とし、支那と云ふ大きな國との關係が深くなりました以上、今までのやうに日本一國のみが不景氣になる心配がない。滿洲國、支那、日本と云ふやうに東亞全體が有無相通じて一丸となるのでありますから、滿洲國の産業の發展が日本の産業を壓迫すると云ふ事は絶対にないのであります。滿洲國の産業は日本の産業の枝葉をひいたものであり、又滿洲、支那、日本と云ふものは一つの強力なブロックとして進まなければならないと云ふ事を日本の皆様へ解つて戴きたいのであります。

斯う云ふ事をハッキリ解つて戴く爲には矢張り鐵鋼協會の方々のやうな、日本の有数の會社の事業に従事して居られますやうなお偉い方々にドンドン滿洲にお出でを願ひまして、色々御視察を賜るのが一番かと思ふのであります。而して「斯う云ふ事業は滿洲で起したらいい」、「斯う云ふ事はもつと教へてやらなければならない」と云ふ風に、色々御注意やら御指導御鞭撻やらを下さいまして益々滿洲國の工業界を御引立て下さいますやうお願い致す次第であります。

此の意味に於きまして、私共は鐵鋼協會の方々を工業の中心地たる奉天にお迎へする事を得ました事を、非常に欣ぶと共に裏心から歓迎の意を表したい心算で御座います。

扱本日は滿洲工廠、富士電氣會社、滿洲車輛會社、滿蒙毛織、住友金屬會社、鐵道總局、滿洲麥酒の7社が主になりまして日本鐵鋼協會の方々に歓迎の意を表したい、旁々種々お話を承つたり愉快に一夕を過して戴きたいと思つてお出でを願ひました次第で御座います。本日は市内の各工場を御視察下さいまして、御疲勞の所を多數御出席下さいました事は我々主催者側と致しまして洵に有難く厚く御禮申上げる次第であります。設備萬端非常に不行届膝でもあり、又席順等も心ならずも違つて居るやうな事がありはしないかと甚だ案じられる次第であります。時間も差迫つて居りお腹も空いて居ります事御座いますから早速ながら、不味い御馳走では御座いますが美味しく召上つて戴きたいと思つて居ります。どうぞ御寛りと時間の許す限り御歡談下さいませやうに……。愉快に今夕を御過し戴けましたら有難い仕合せで御座います。

終りに臨みまして來賓各位の御健勝を祝し、滞りなく滿洲の御視察を終へられました上は、御無事内地にお歸りになられますやうお祈り申し上げます。是れを以つて御挨拶と致します。(拍手)

謝 辭

日本鐵鋼協會々長 齋藤大吉君

只今は山本滿洲工業會々長より私共一行に對して極めて御鄭重なる歓迎の御言葉を戴き同時に又内地に歸りましてからの我々に對する御希望なども承りまして洵に有難く拜聴致した次第であります。又本日は私共一行御當地に參りまして滿洲工廠、富士電氣會社、滿洲麥酒會社、滿蒙毛織、滿鐵々道工場、滿洲車輛會社の6工場を詳しく拜見さして戴きましたが、洵に有益、且つ我々の参考に資す

る所が甚だ多かつたのであります。同時に最近の鐵西地區に於ける工業が斯くの如き發達を示して居やうとは私共今まで考へて居なかつたのであります。此の度は是れ等の御會社、御工場に參りまして、極めて短時間の間に斯くの如き設備をなし、而して盛んに操業をなされて居る有様を拜見するに及びまして、衷心より感嘆致し、其の御努力に對して非常な敬意を表した次第であります。

尙本日お晝は滿洲麥酒會社に於て只今申上げました6會社の外に住友金屬工業會社を合せて7會社の極めて結構なる御馳走に預りました上に、又今夕は斯くの如き盛大なる歓迎の宴をお開き下さいまして、私共と致しましては洵に恐縮に存じますと共に又非常な光榮と存ずる次第であります。一同を代表致しまして私から厚く御禮申上げます。

尙本日は通俗講演會等が御座いましてこちらへ參上致しますのが甚だ遅くなりまして、御主人側の方々に對しては種々御迷惑をおかけしたかと思はれます。一言御詫びを申上げる次第であります。

最後に私共は杯を上げて、今申しました7會社の御事業の將來益々御發展になられます事を祈りたいと思ひます。(拍手)

VI. 滿洲重工業開發株式會社の招待晚餐會狀況

(康德6年9月27日於新京)

歡迎之辭

滿洲重工業株式會社 總裁 工學士 鮎川義介君

「要旨」此度日本鐵鋼協會並滿洲冶金學會に於かれましては、奉天に於て聯合講演大會を御開催になりますに當り、内地よりも多數鐵鋼界の權威者が御參加になりまして、滿洲に於ける鐵鋼事業の實情を親しく見て頂くことが出來ましたことは私共同じ事業に携つて居るものと致しまして非常に嬉しく感じて居るものであります。實は私も本大會の實行委員長と云ふ大任を御引受け致して置き乍ら種種の都合に依り只名前を連ねたのみで、何の御手傳ひをも致しませず、甚だ申譯け無く思ふと同時に、深く御詫び申上げる次第であります。然るに齋藤會長以下各位に於かれては、非常に御忙しい日程を特に御割き下さいまして滿洲重工業開發株式會社の關係會社を多數御視察下さいましたことは私の非常に光榮と致します處であり茲に厚く御禮申上ます。

既に各地に於て御覽下さいましたことと存じますが、滿洲に於ける鐵礦資源と云ふものは實に豊富に存在して居り、先頃來滿された日滿共同資源調査團一行の調査に依りまして、豫想以上の大量が埋藏されて居ることが確認されたのであります。而して之等の鑛石は一般に所謂貧鑛であるとされ、其爲に埋藏量の多大にも拘らず、其價值が低い様な感じを與へてゐるのであります。外國の實例等より致ししても滿洲の鑛石は決してプーア・オアではなく、リーン・オアと稱すべきものであり、現に昭和製鋼所をはじめ各所に於てこのリーン・オアを使用し、御覽の通りの立派な成績を擧げて居るのであります。この點よりして滿洲の鐵鋼資源は單に量のみならず、質的にも決して悲觀すべきものではないのであります。斯く量的にも質的にも豊富なる資源を滿洲は蒙つて居るのであります。之が開發には尙多大の機械設備、人的資源を必要とするのであります。其完備、補充には是非共日本側の絶大なる御協力を御願致さねばなりません。幸にも日本の鐵鋼界を代表される各位には充分現地の實情を御認識下さいましたことと存じます故、御歸